

年 頭 ノ 言

* 會 長 坂 田 昌 亮



今や東亞協同體建設のため友邦日本は舉國大陸に征師を進めつつある最も記念すべきの秋、茲に康徳七年の新春を迎へ土木事業に従事する。吾々は其の責任の重大さを感じると共に粉骨細身一層の精進を以て興亞聖業の完成に微力を致さなければならないことを痛感する次第であります。

翻つて吾國の現状を見るに治安、産業、經濟等はまさに日進月歩の大飛躍をなしつつあり、本年度政府總預算は26億圓を突破し、昨年に比し6億圓の増加を示してゐるのであつて、之こそ如實に國運の隆昌を物語るに外ならないのであります。吾々の關與致します土木事業預算も道路、河川、鐵道、水運、發電水力事業等各般の事業に亘つて1億數千萬圓の巨額に達してゐるのであります。

之等の大事業は吾々の手で遂行しなければならないのであり、之等の諸事業こそ直接國家進展の原動力であり推進力でありその或るも成らざるもその責任はかかつて土木技術者の双肩にあるのであります。

各國の情勢は完全なる統制を要求するに至り産業經濟部門はすべて國家の手により官業として又は純官業の状態を採るの餘儀なきに至り從來民間に委ねられた科學的知識専門的技術は國家が直接に持たなければならなくなつて來たのであり、反面より見れば技術が國家行政の基礎となつて來たのであります。

茲に更に吾々の重大なる責務があり従つて技術者は絶へざる技術的練磨と研鑽とを必要とし國家の期待が技術者に対して大きい程その責任は重大であり、計畫と實行の兩方面に亘り遺憾なく技術の眞髓を發揮し些かの疎漏も許されないのであります。

土木事業は他の技術部門と異なり多くはその性質が公共的であり民生に密接な接觸を有するのでその及ぼすところの影響を充分に検討すると共に廣く國策の向ふところを洞察するの明敏を持たねばならないのであります。

諸事業の急速な膨張は必然的に材料勞力の不足を招來し、加之歐洲情勢逼迫のため從來歐米に依存した諸材料は輸入杜絶又は非常なる暴騰を來し著しき品不足の状態となつて來たのであります。工事材料が既にかくの如き状態にあり、勞力も亦需供の調和は破れ勞力不足の痛切なるは今日程甚しきはない現状であつて土木事業の受難期であると云へるのであります。この状態を吾々の持てる技術によつて改善し最小の材料、勞力で最大の効果を擧ぐべき研究をなし時難を克服するところに技術の發達があり進歩があるのであります。

願れば昨年も此の苦惱の中に闘つて來たのであるが、今年は更に一層の困難に遭遇するであらうと豫期されるのであります。幸にして諸氏の健闘によりこの難關をよく克服して技術報國の成果を達せられんことを望んで止まない次第であります。